

2003年度大学院文学研究科修士論文・ 文学部卒業論文題目一覧 (修了生、卒業生のみ)

2003年度文学研究科修士論文

- 浅野貴久子 外向性—内向性時点と情報処理速度の関連性の検討
アブドレイム・アブドハリリ 現代ウイグル語の形態素解析
- 池上由希子 私的・公的出来事記憶の時間的際体制化について
- 石井 敬子 英語IT分裂文の一考察—until/tillとnotに注目して—
- 石河 剛 色による文節が運動からの構造復元に及ぼす影響
- 井上 紗奈 ハトにおける機能的等価クラスの形成と拡張
- 今井 美恵 膜—隠喩としてのエクリチュール—
- 及川 俊信 ソビエト連邦期カザフスタンの家畜飼育における諸変化—
「遊牧」からの移行という視点を中心に—
- 黄 俊春 有島武郎文芸思想の行方—中国作家の視点を踏えて—
- 鹿住 大助 18世紀のコンパニョナーージュが担った対抗の役割の再検討—
ガラス職人ジャック＝ルイ・メネトラの「フランス巡歴」経験を中心に—
- 許 静 「満州国」期における牛島春子の作品に関する一考察
- 君塚 弘恭 18世紀初頭フランス重商主義政策とギユイエンヌ商業会議所—
政策の展開と商人たちの対応を中心に—
- 木村 恵介 現代中国語における複合動詞後部要素“完”、“好”の意味記述
- 工藤 紀子 乳児の音節分節化に関する脳指標
- 高野ルリ子 顔の類似性評価における顔構成要素の優位性に関する研究
- 小林 武史 東北地方における周溝墓の出現に関する一考察
- 齋藤 寛明 『実存開明 [哲学Ⅱ]』におけるヤスパースの実存的交わりの研究と検討

- 佐久間美羊 日本軍捕虜となったあるオーストリア人の記憶—小説No
Time to Look Backから—
- 佐々木恵理子 英語の頭文字語に関する音律論的研究
- 朱 武平 日本語におけるとりたて助辞の意味と用法
- 須田 亜紀 仏堂からみた基層社会の仏教信仰に関する一考察
- 高橋 徹 涙の現象学
- 田口 朗 イメージの形成と記憶に対する指動作の影響
- 田村 敦史 介護という経験
- 土屋 貴裕 「天狗草紙」研究
- 堤 佳晴 「ユーラシア主義」とロシア社会—その意義と影響に
関する研究—
- 董 慧穎 現代日本語における敬語の用法—小説会話文を中心に—
- 戸張 靖子 ジュウシマツにおける脳の性差：発声神経系の発達変化
- トフティ・アミナ 多民族国家におけるバイリンガル教育をめぐって
—親世代による子供の学校選択を中心に—
- 富田奈摘子 できるだけ差別者にならないために—差別の表現が与える
もの—
- 仲間 麻子 口噛み避けの心性史—石垣島・宮良村のオンプールにおけ
る神前酒を事例に—
- 長谷川陽介 グルーズを見るディドロ—子供の絵を通して—
- 平井 聖 ルソーの哲学思想における一般意志概念の考察
- 関 慶仁 韓国語尚州方言のアクセント体系
- 文 瑛碩 韓国人ビジネスマンのための日本語敬語教育に関する基礎
的研究
- 堀内 秀一 感情、この曖昧な存在について—プラトンの対話篇を中心
に—
- 松井 千穂 ガラス小玉副葬の一側面

2003年度文学部卒業論文

〔行動科学科〕

・哲学

- 伊藤 紗弓 積極的安楽死は認められるか—意図的に死をもたらず治療法の是非—
- 井本 竹彦 ガブリエル・フォーレの『弦楽四重奏ホ短調作品121』について
- 岩田 智博 私・死・倫理
- 大橋彩恵子 ジョン・デューイの『誰でも信仰』を考える
- 風間 維彦 未来予見の不可能性と〈私〉の認識不可能性
- 神谷 英剛 なぜ道徳は従うべき理由をもつのか
- 熊谷 玲子 自己犠牲とはあるべき行為か—あるのか、そして、よいことなのか—
- 齋藤 元希 一般に「悪い」とされているものについての対話—おもに人殺しや売春について—
- 笹木美美子 個人的試行、個人的嗜好
- 鈴木 恵美 パウル・ティリッヒにおける「哲学」とキリスト教信仰—『聖書の宗教と究極的実存の探求』をテキストとして—
- 高橋 哲也 禅の公案の読み方
- 谷 延仁 ニーチェの永劫回帰について
- 富田 美幸 ヒポクラテス医学研究—『人間の自然性について』と『神聖病について』を中心に—
- 中澤 弘樹 クローン問題について
- 西沢 優子 形而上学的視点からの死
- 花房 正子 『デカルトの省察』を考察する
- 古橋 洋輔 「語りうるもの」と「語りえぬもの」—ワイトゲンシュタインの「言語ゲーム」論—

・心理学

- 一宮 浩平 アナグラム問題解決の学習過程

- 岡田 匡史 5 DPT日本語版のビッグファイブ質問紙との比較検討
稲田奈都子 Object-based effectの観察される条件—同一object優位性について—
- 喜多 充瑠 関係枠としての刺激の配置が斜め線分探索に与える影響
大越佳寿郎 音楽の感情的特性と聴取により喚起される感情状態の関連の検討
- 熊谷 洋介 ワーキングメモリーにおける中央実行系の機能と役割
桑山 知美 成人健常者の心の理論能力に個人差はあるか—視覚情報と聴覚情報の関係を探る—
- 斉藤 文女 発言者の先行情報がうそと皮肉の理解に与える影響について—子供における特性語理解の視点から
- 佐久間直人 表記が異なる数字の処理における意味の自動活性について
須賀 一成 Selective reaching課題を用いた動作中心的な注意の研究
竹林 自子 青年のリスクテイキング傾向に及ぼす気分と非現実的楽観傾向の影響について
- 寺坂 久也 大学生における非言語性、「心の理論」課題、メタ表象課題の作成と検討
- 西岡 宏 展望記憶課題の成績における外向性の影響
花木 俊介 光輝知覚における光度勾配効果
林 沙樹 ターゲット人物と自己との類似評定に相手の国籍が与える効果について
- 日沖美乃里 無関連次元の変化が音高・音色に及ぼす効果
藤田 圭 屈曲のある到達課題に及ぼす角度および学習の効果
星 美沙子 表情を伴う顔の同定に及ぼす視線認知の効果
掘留あゆみ ロンドン塔課題を用いたプランニング機能の測定について
森田 倫子 特性語の潜在記憶に及ぼす影響について
米田 恵美 誘導自由バイアスとフレーミング効果との関連性についての研究—疑似ニュースを用いて—

・認知情報科学

- 押川 貢久 XMLを使ったウェブサービス

- 加藤 陽子 ジュウシマツの高次発声中枢における自己の歌と逆再生歌の反応差
- 坂木 孝舗 コヨシキリのオスにおける歌の複雑さの個体差
- 嶋田めぐみ 対応分析における解の安定性と二つの多次元解の対応について—対応分析と多次元尺度構成法—
- 田中裕理子 ハトのカテゴリー学習のプロトタイプ効果と機能的等価性の検証—人の合成顔画像から成る人工カテゴリーを用いて
- 中川 暁 笑い声のクラスター分析
- 中武 優雅 三次元座標データを用いた頭部動作のカテゴリー化
- 林 晃生 動物の知能に関する評定
- 横山 志麻 傾いた絵画知覚における表象知覚について

・文化人類学

- 岡 準也 顔に魅せられる心—認知的流動性の中で煌くもの—
- 笹岡奈津木 中国茶ブームから探る女性の美容観
- 高宮 史子 ボランティアという行為—有償ボランティアからみる人々の意識—
- 武田 貴之 生活する土地に対する愛着について—千葉大生の場合—
- 竹林 伸平 紛争後社会における和解の進展について
- 中村明日香 「抗菌グッズ」の日常的意味—自己と他者の境界線をめぐる攻防—
- 坂東菜穂子 『プロクルテスと帰国子女』強制／共生のベッド
- 吉岡 洋樹 人への興味、物への関心—自閉症の視点から—
- 吉田 亮吾 参加する障害者スポーツ—車椅子バスケットボールを通して考える—
- 米山 茉未 母と子の葛藤—子殺しと虐待から—

・社会学

- 阿部 聡子 ジェンダーと色の関係について—そこに潜むジェンダーの再生産—
- 阿部 淑子 あの世とこの世をつなぐ者—失われるオカミサマ文化—

- 稲熊 圭 昭和を生きて—あるひとりの女のライフヒストリー—
井上 寛子 第2次団地ブーム
白幡悠佳理 ホスピスという場所—「安らかさ」と「孤独」のはざままで
大竹 佳子 姉妹—私の秘密な世界
大平 賢一 タイで働くミャンマー人—チェンマイ・ナイトバザールを
中心に
小野はるか 山谷住人の多様化と「山谷」イメージの内面化
佐藤 茜 永大供養墓
白水 波子 「日本人はなぜ英語ができないか」再考
鈴木 裕子 私設応援団とサポーターグループ—サポーターグループ—
は新しいのか？
宍倉真理子 日本のインバウンド振興における阻害要因の提案と検証
土橋 真季 「脱青年期」における親子関係—自立とは何か
下垣美千留 メランコリア—自分という枠の中で
中村 新悟 MMO型ネットゲームから見た文字コミュニケーション
任 桂玉 中国人IT技術者の在日体験談
長谷川 圭 テロに学ぶ—9.11テロ
堀口 知恵 変化の波に揺れる職人—職人と職人をとりまく状況の昔と
今を見つめて
三浦 怜子 聞こえない子供をとりまく環境—ろう者と聴者の価値観の
間で
村上 秀和 ネットコミュニケーションと都市伝説
山下 麻美 クルマ社会におけるジェンダー
山田 貴之 ネクタイとスーツと私
山本 彩 異文化接触と異文化共生の社会学—文化の異質性を持った
日本とマージナル・マンとしての帰国子女の衝突と異文化
交流
山本 龍 ナシヨナリズム化する日本—レゲエを通して見る日本
米田 俊平 タマちゃん騒動を読み解く
米原加奈恵 就職不安—仕事との付き合い方を考える

〔史学科〕

- 伊藤 彩子 縄文時代中期における遺跡群の様相—有吉北貝塚・有吉南貝塚を中心とする遺跡群からの考察—
- 伊藤 裕誠 ヴァイマル共和国の崩壊とドイツ国家人民党—フーゲンベルクの権力掌握と党の急進化を巡って—
- 内門由美子 考徳朝にみる「王権」と「宗教」—仏教について—
- 大久保和洋 近代イランにおけるウラマーの役割と立憲意識
- 大嶋千恵子 幕末佐賀藩における遊学—洋式軍事技術を中心に—
- 大谷 真由 ケルト装飾文様に見るヨーロッパにおける図像の交流と展開について—〈ダロウの書〉を中心として—
- 長船万里恵 ユダヤ人と同化—ガリツィア・ユダヤ人をめぐる問題—
- 小幡 千昌 城柵の存在理由と蝦夷との関係について
- 梶原 正嗣 ヒマラヤイズムの誕生
- 北原 卓 日本中世における天皇「家」の成立過程—皇位継承問題を中心に—
- 桑原 純平 中国帰国生徒の現状と高校進学
- 國分 篤志 東日本の弥生時代の卜骨—その特徴と変遷に関する基礎的考察—
- 柴山 里沙 航空機燃料暫定貨車輸送にみる成田空港問題について
- 清水 晃広 地方有力寺院における本末争論—阿波国美馬郡郡里村安楽寺を中心に—
- 鈴木 和仁 十八世紀前半における幕府貨幣政策の意義についての試論
- 鈴木 静恵 近世後期の地方廻船—その動向と特質—讃岐高松藩の砂糖領外移出を例にして—
- 鈴木 真人 中世癩者存在形態の概観—中世後期、宿・散所・河原者との関係についての展望—
- 谷川奈保子 エウリーピデース『ヒッポリュトス』—女性と家の観点から—
- 田部 千尋 中世「世界図」にみるギリシャ的世界とその変容
- 土屋 昌之 社会運動論による学園闘争の把握—千葉大学の学生運動を例に—

- 寺原 進 イングランド南部のstone circle特にその用途について
中村 真之 ザンジュの乱
中谷 大輔 バウリング条約とライス・エコノミー
二階堂 梓 南北朝期奥州における上部権力と在地の動向—陸奥国府の
地方支配機構を中心に—
根岸 瞬 戦前戦中の日本における流行歌の中でのアジア像について
林田 紘久 中国演劇論—演劇成立遅延について—
比佐京太郎 房総里見氏と江戸湾
福本 政子 アメリカの万国博覧会を通して見る世紀転換期における人
種概念形成過程
船越 貴文 ローマ時代の別荘立地の地域性—エトルリア南部につい
ての考察—
古田 玲 イスラーム貨幣史の変遷—ウマイヤ朝の貨幣制度に関する
—考察—
本間 知式 西郷隆盛と私学校党
松下 知弘 吉田松陰のヒューマニズムから見る、その人間像
三和 佳澄 中世十三湊と安藤氏—中世十三湊の成立と展開そして終焉
村本 健 ケルト文様のシンボリズム考察
諸橋 泰平 アイヌ民族の「熊送り」のルーツに関する—考察—骨塚の
分析、骨塚との比較を中心に—
米岡 明彦 修学院離宮中御茶屋—楽只軒と客殿にみる寛永文化の一考
察—

〔日本文化学科〕

- 青木 聖子 小泉八雲論—怪談を中心に—
赤堀 里美 戸田村における日露交流
天野絵梨子 舞楽の花—中世楽人の精神—
石井 忠則 『忠臣水滸伝』論攷—読本の濫觴としての諸様相—
石田 明 明治開化期における西洋語流入に関する研究
井原布美子 文学における新撰組像の変遷—史実がフィクションに変わ
る時—

- 薄井 宏美 ホームステイのインターアクション
- 内田 翠 『とりかへばや』考—「倒錯」と呼ばれた姿—
- 内山 明紘 現代に生きる尺八—普化尺八楽の変遷とその普及
- 遠藤 利治 死生交情譚考—近世前期怪談集の幽霊譚とその諸相—
- 遠藤 裕子 栃木県河内町とその周辺の動詞に関する記述的研究
- 加藤 美穂 ナーナイのニンマーの研究—風間伸次郎先生のテキストから—
- 金 美蘭 自然習得場面における学習自己管理—中国人就労者を対象に—
- 小林まり子 森茉莉論—『甘い蜜の部屋』を中心に—
- 小宮山ゆかり 『古事記』における婚姻についての研究—兄妹婚を中心として—
- 近野 涼子 古代におけるあの世
- 佐藤稿太郎 夏目漱石『門』論
- 白井 美鶴 「鏡」からみる人々の想い—平安時代の文学作品を中心に
- 菅原 剛士 犢橋方言の基礎的研究 名詞・動詞・形容詞の形態論
- 鈴木 淳広 イタリア語の再帰動詞の自他交替—脱再帰化と反使役化について—
- 鈴木 輝人 現代日本語の表記法・表記意識について—新聞広告のひらがな・カタカナ・漢字をめぐって—
- 添田さやか 日本におけるオリエンテーリングの普及に関する考察—アウトドア型スポーツ種目の盛衰とその諸要因—
- 高橋 正二 異類合戦物黄表紙における趣向の変遷
- 武市 友季 「ふるさと」と絵本
- 竹内 千晴 日本泳法の現在について考える
- 竹田 学 島田雅彦という視角—現代「文学場」試論—
- 永瀬 陽子 中世王朝物語の男色について
- 長谷川紀子 日本語学習者のturn-takingにおける問題点
- 濱崎 志織 「恋しくば……」をめぐって—三輪明神から狐女房へ—
- 平田 圭佑 アイヌ衣服における樹皮素材の研究
- 牧野 悠 坂口安吾論 戯作者性とその周辺

- 町田 浩子 明治期における西鶴の復活—明治二十～三十年代を中心に
三宅 智樹 中国語における動詞の重ね型
安原 沙織 『紫式部日記』衣裳論—紫式部の感性にふれて—
山本 倫子 ゲームジャンキー—インタラクティビティを中心に—
吉田亜希子 独立・拡大する妖怪イメージ

〔国際言語文化学科〕

- 阿彦かおり 映画の誕生—リュミエール兄弟とジョルジュ・メリエスの活動—
飯田 季衣 “The World Is a Fine Place”: A Study of *For Whom the Bell Tolls*
生田 幸子 「不定冠詞」と「文頭」—仮定的条件提示のメカニズム
猪藤 知子 A Study of *The Deer Hunter* and *Apocalypse Now*
薄井 歩 Michael Ende, *Momo* を通して考える、大人のためのファンタジー
碓井 春香 サグラダ・ファミリアとガウディの生涯
宇野香代子 Resultatives and Depictives
遠藤優貴枝 同時詩「提督は借家を探している」—意味の喪失と誕生—
大倉奈々絵 The Relationship between the Government, the Mass Media and Citizens: A Study of Shifts in Public Opinion in the Early Months of the Iraqi War
大蔵 良輔 The Place of Robert Johnson in the History of the Blues
川合 恭代 On the Function of Viola's Male Disguise in *Twelfth Night*
狐塚由貴恵 シンデレラの来日
木村 彩 分かち書きか、続け書きか—語の定義と複合語の性質から探る分離動詞—
工藤 敦子 Hollywood and American Politics: The Politics of History in *Forrest Gump*
来栖 愛香 人間の心という海を泳ぐ人魚たち
阮 霞 大衆文化としての漫画

- 古味 友行 An Analysis of Un-words
齋藤 玲子 紛争とメディアの関係性—マケドニア紛争をめぐる考察—
坂路佳緒理 サルバートル・ダリの肖像—その才能を発揮するために—
塚原 裕子 An Analysis of the Suffix-IZE
虎石 充 小津安二郎はなぜ世界的に評価されるのか
成田錬太郎 幕末の日仏外交—なぜフランスは幕府支援に固執したのか
西澤 瑠美 女性雑誌の日米比較—ジェンダーとアイデンティティの視点から—
- 西村絵理奈 Making a Democratic, Secure Society in the Cyberworld
野下裕美子 The Asian American Experience: Their Past, Present, and Future in America
- 塙 宜子 メディアを通して見る世界—9・11以降の報道から考える
濱田 紘美 “He Is My Kind”: On the Self-Formation in *Jane Eyre*
半場 雄介 Gun Control and Gun Problem in the United States
堀田 深雪 アニメーション『千と千尋の神隠し』の日・仏・英語版における差異について—字幕表現から考察する—
- 許 禎娥 日本と韓国の歴史教科書における日韓関係史の比較
—2001年教科書問題を踏まえて歴史教科書を教える—
- 松永 郁美 An Analysis of Modern American Women's Situation Based on *When Harry Met Sally...*
- 松本 涉 The Appeal of Japanese Animation for American People
松矢 洋平 アルバール・カミュ『異邦人』におけるムルソー像
間瀬 宏美 The Meaning of Contrast and Similarity between Peter Pan and Captain Hook in *Peter Pan*: How Are They Related to the Author?
- 三島 達成 Analysis of the Early Trilogy of the Kinks
村山 陽子 原作としてのグリム童話とディズニー映画の比較研究
山本 大志 現代のサンティアゴ巡礼—巡礼者の動機からの考察—
李 恩姫 国際化の中の民族教育問題
李 虹 翻訳文学の今昔—中国における近・現代、その変遷—